



## Fine Type1

---

FRP基礎専用設計

FRP基礎専用防水養生カバー

*Reducing the burden on workers  
It is to reduce the burden on  
yourself. The best tool is 「It s a  
small step for humans. Its a big  
leap for humanity.*

-ニール アームストロング

一部引用...

# Before after

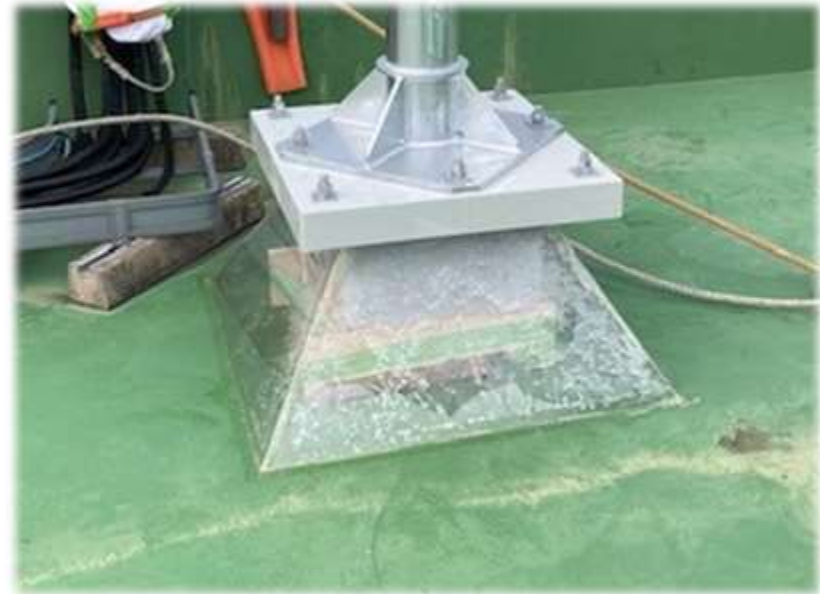
これでも貴方は手作りを繰り返しますか？

---

FRP基礎専用 FRP製防水養生カバー



DIYでの養生カバー アクリル板

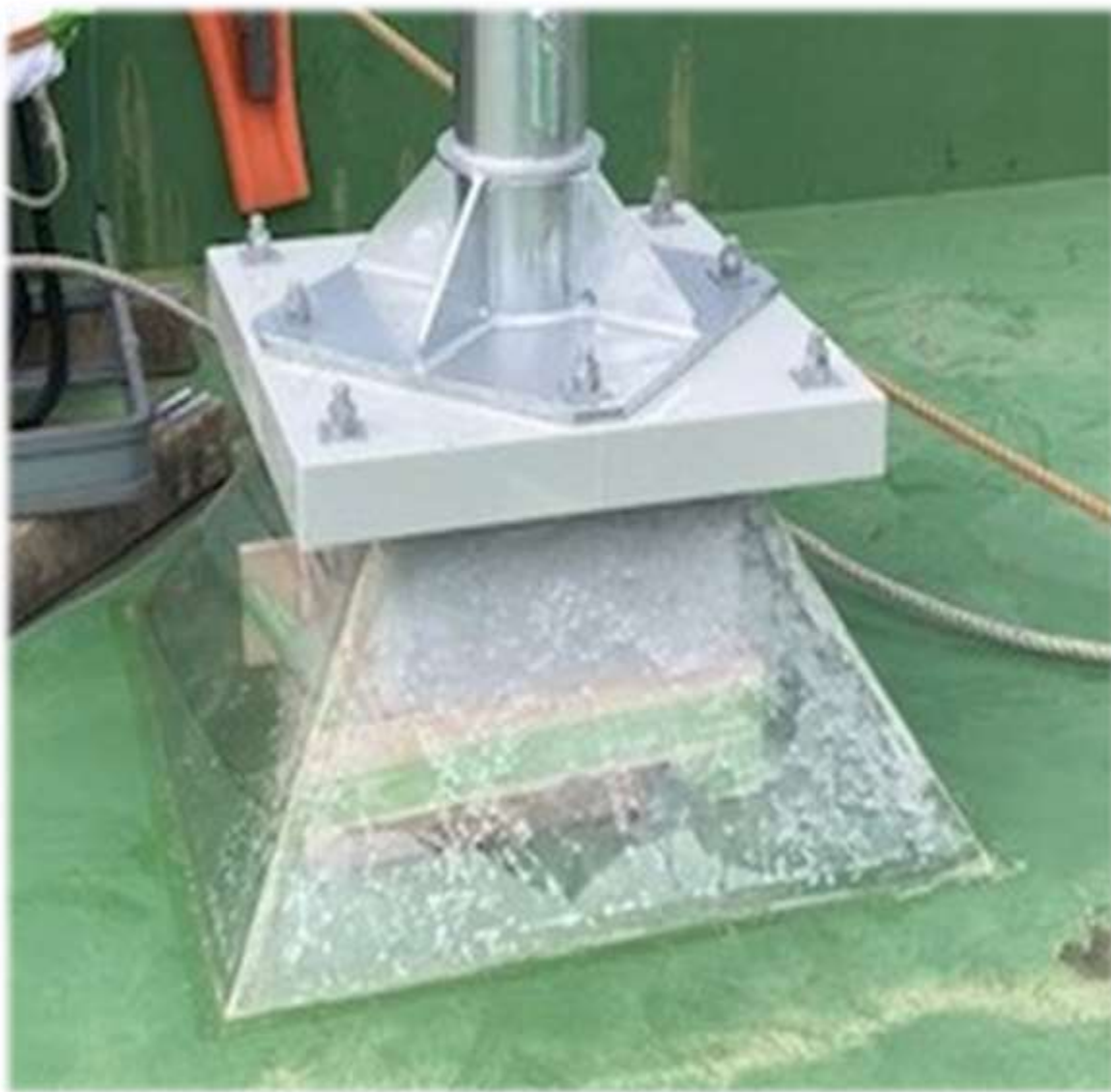




これの何が問題  
なのか？？？

What 's the ploblem with this?





屋上面とカバーの接合部の角度が、毎回変わる事。

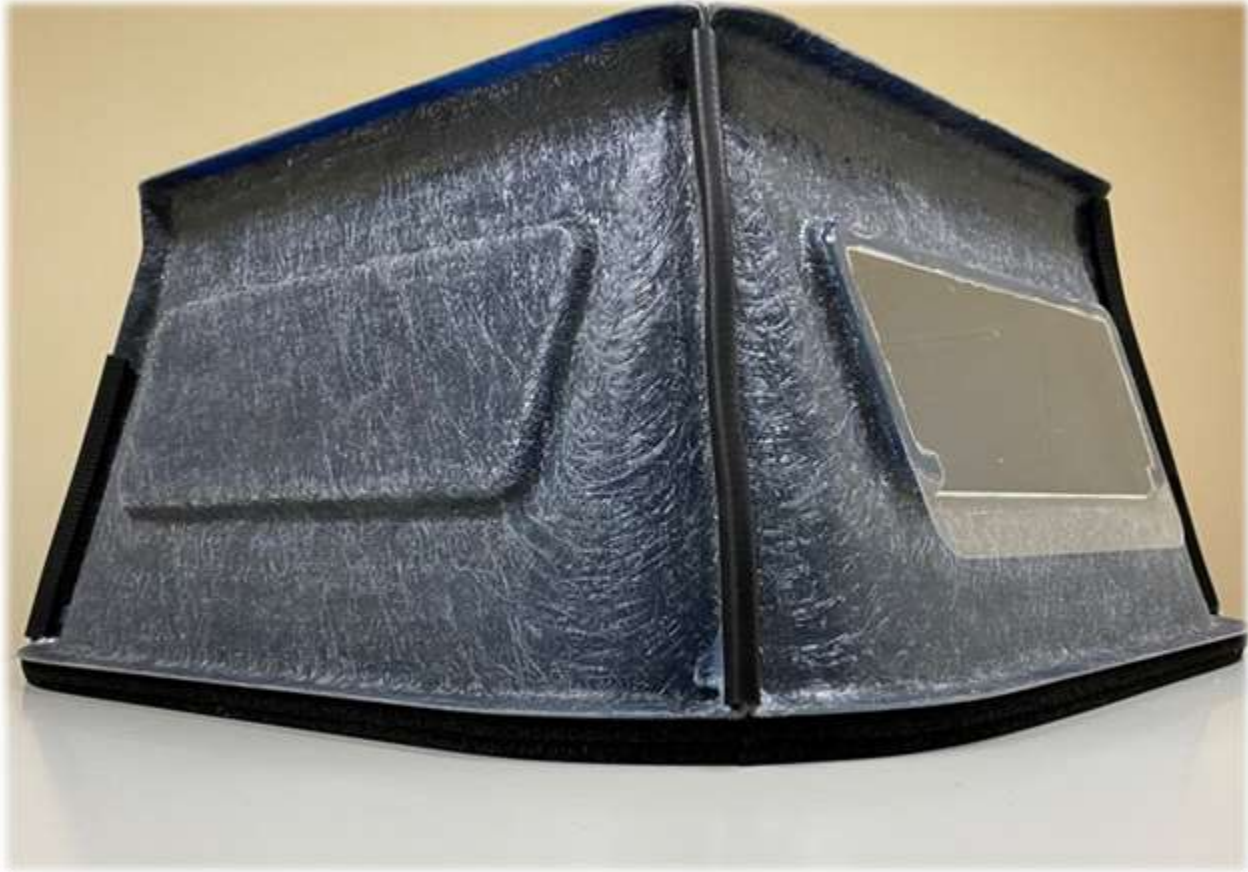
その結果として、カバーの下部と屋上面との接合部をテープやシーリング材に頼ることになり、一末の不安を抱えることとなり、本防水が終わるまでは不安で仕方がない。テープやシーリング材を施工する人によってもばらつきがあり、仮防水感たっぷりとなる。また、屋上面は建物によって様々な防水材となっており、テープやシーリング材が付着しにくい場合もある。結果的に、仮防水後に養生をしても漏水事故は発生しており、養生の効果には限界があると言わざるを得ない。左の亚克力板だと、屋上面とFRP基礎の高さに余裕がある為取り付けられるが、現場によっては50mmから70mm程変動があり、この亚克力板を使用しようとするとテープやシーリング材で亚克力板の繋ぎ目と屋上面との接地面を埋める必要が発生する。言い換えると、リスクを増殖することとなり、漏水の発生起因を作ることとなる。作業員としては手数が増えるばかりでリスクを減らせないジレンマに陥ることになる。更には、防水面がアスファルト防水だったりシンダーコンクリートだったりすると、接地面の小さな起伏があり、接着剤が付着しづらい？付着しない。毎回、数千円程度の資材を捨てる事になり、目に留まりにくい費用負担が発生し、ストレスの温床となっている。また、その毎回捨てる資材を揃えるという作業も発生しており、見えない労力の負担にも繋がっている。作業員からすると数千円だからと資材を粗末に扱う傾向もあり、仮に漏水を防ぐことができても脱却する際や持ち運ぶ際にやはり粗末に扱い、カバーを損傷させることもある。実際、この亚克力板は2セット作成していたが、1セットは亀裂が入り、残念ながら再作成が必要になっている。

亚克力板で数千円、亚克力板加工に工数3H、現場毎に高さの変動を考慮する必要があり、ビニールテープやシール材も揃えると数千円。取り付ける作業には二人での作業になり、強風下では更に施工難度も上がる。作業員の特性上、シールしたから大丈夫！とか、テープ貼ってあるから大丈夫！とか、検証すること無く作業して終わる事が多い。

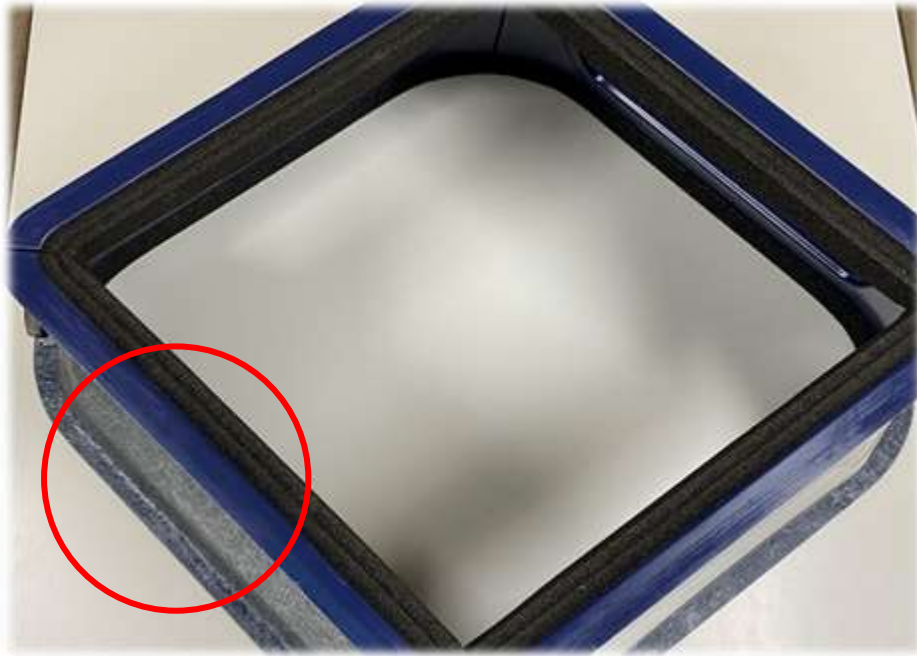
亚克力板での養生をする前までは、透明のビニールシートと養生テープの組み合わせだったり毎回、違う施工でした。都度、必要資材の選定、購入、施工と試行錯誤の繰り返しです。使用した部材は毎回、ゴミ捨て場行きでした。

とある現場にて、FRP基礎を5基設置する事があり、残念ながら当日の天候は雨予報・・・想定を超えた雨に、全身本当にすっかり濡れてしまいましたが、事前に行った仮防水と養生にて漏水事故には至りませんでした。しかしながら、当日作業したスタッフは全員がびしょ濡れとなり着換えを必要とする程でした。これが一番、作成しなければならない！と感じた瞬間でもありました。この亚克力板を作成したスタッフも、この雨に打たれています。

少しでも早く確実に安心出来るカバーの作成を！  
帰宅後、お風呂に浸かりながら、カバーの材質や細部の懸念払拭を考えました。



**Fine** type1



**赤丸**のゴム製品が特殊ゴム材

**左側と右上** エプトシーラーと呼ばれる物で、70%圧縮する事で効果を発揮する

FRP基礎の僅かなテーパーに対応出来、高さの調整を可能にする  
建築物の防水面のシール材としても使用されている  
ホームセンターでも購入可能

**右側下** 一般的な自動車に使用されているゴムで取付取外しを容易に出来る

繰り返し使用可能。実験では、FRP基礎をこのカバーに乗せて、17時間放置。ビクともせず実験終了。  
下部のゴム部分で滑りの抑制とゴム内側のズレ防止の返し部分が功を奏している。





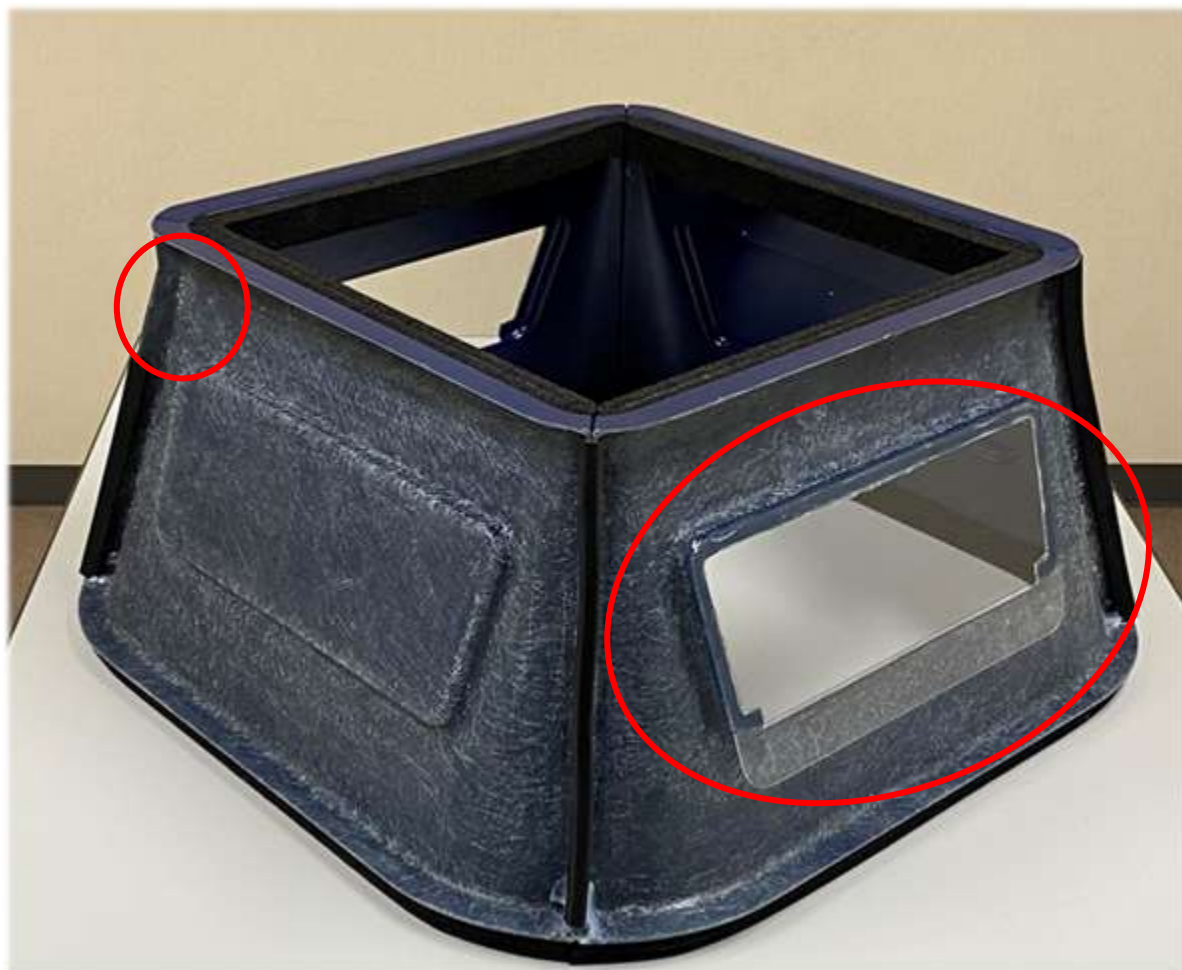
## こだわりの各部

施工後に中を見れるように透明アクリル板を使用

カバーの合わせ面にもひと工夫あり  
誰が組み立ててもズレの心配は無用

外気を取り入れる事でグラウトからの水分蒸発を外に逃がしカバー内部の結露を防止

FRP基礎が設置される前でも  
カバー単体での養生カバーとしても成立する様設計





# 従来との比較

	従来 シート養生材	FRP養生材
作業員	2名	1名
作業時間	天候・現場と人によりけり 概ね30分	組立3分 設置10分
材料	防水シート材、テープ、シール材	FRP養生材、編成シリコンシール材
価格	買い方次第 1セット凡そ¥5,000- 工数含めると・・・万単位	販売価格 ¥120,000- (希望価格)
難易度	★★★★★ 経験が必要 現場によりけりの部分もあり 極めて困難	★☆☆☆☆ 簡単
メリット	特になし 出来ればやりたくない	繰り返し使用可能、軽量コンパクト 高耐久性
デメリット	人物金 時間を必要とし その場限り 不安払拭出来ず	数年に一度のゴムの取替

## 施工会社が1番大切にしなければならない事

それは、お客様に **安心・安全** と理解される事

施工会社として、頂いた案件をこなすだけでは与えられているにしかならず。

如何にして、安心していただけるか？常に模索しなければならないと試行錯誤しています。

本製品を制作するにあたり、誰一人として、不幸感を与える訳にはいかないと決心しました。

制作会社、施工会社、販売会社・・・

## 養生という言葉を軽んじる事無く

本当の意味での養生にする。先ずは自分自身が1番**ワクワク**出来るかが大事な事でした。

時を同じくして弊社の1番若いスタッフが作成したのがアクリル板での養生カバーでした。

彼は自発的に作成しました。作成後に相談を持ち掛けられたので、幾つかの質疑をしたところ

未解決のままでした。物事を簡単にする事は大切ですが、簡単にする為の**創意工夫**までは

至っていませんでした。が、自発的に作成した事については敬意を持って褒め言葉を伝えました。

凡そ 10 数年間

FRP基礎の工事に携わりながら、今日まで作成していなかった自分を先ずは反省しました。

出来る限り多くの施工会社に使用して頂きたいと存じます。

養生をするという事概念を改め、また、どうせするなら

楽しんで良い施工、自分達がワクワク出来る様な現場にと

切に願っています。そして、頂いた仕事に対しての感謝の気持ちをと・・・・・・・・

本製品の説明を終了します

ご視聴ありがとうございました

多くの作業員が笑顔でこのカバーと触れ合う事を祈念致します



